



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



2003年6月16日創刊
発行
かながわ
1区支部
編集長
平木 茂

4月号
2016年
No.159

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)

▶ 検索キーワード「松本純」

参院選神奈川選挙区で自民が公明候補を推薦

「政治に責任を持つ」連立政権の姿を鮮明に

自民党はこの夏の参院選神奈川選挙区（改選定数4）で、初出馬する公明党の国際局・青年局次長、三浦のぶひろ氏を推薦候補とすることを決めました。

三浦氏は仙台市出身で千葉工業大学を卒業後、東京工業大学で工学博士号を取得しました。防衛大学校では最年少で准教授に就任。先進発電機器材料の国際会議（EUI主催）で最優秀発表者に贈られる賞を2回連続受賞し、日本人初の快挙を達成しました。



三浦のぶひろ氏



中西けんじ参院議員（無所属）と三原じゅん子参院議員（自民党）

自民党が自党候補と競合する選挙区で公明党候補を推薦するのは極めて異例です。今回は埼玉、愛知、兵庫、福岡の4選挙区でもこの方式が導入されました。一方、公明党は全国31選挙区で32人の自民党候補の推薦を決めました。この結果、神奈川選挙区では三原じゅん子参院議員が公認候補、無所属の中西けんじ参院議員と新人の三浦氏が推薦候補となります。私たちはなぜ、改選4議席のうち3議席の獲得に責任をもたなければならないという、たいへん負担の重い選挙戦を決断したのでしょうか？

「今年の戦いは政治に責任をもつ自民・公明対民主・共産の戦いになります」。3月13日に開かれた自民党大会で、安倍晋三総裁はこう強調しました。「選挙のためだったら誰とでも組む、こんな無責任な勢力に負けるわけにはいかない」とも。この言葉こそ、「なぜ？」に対する明快な答えなのです。厳しい国際情勢、経済状況の中で、連立政権を組む自民・公明両党がしっかり連携して、安定した政治の舵とりにあたる。その姿を有権者の皆さんに鮮明に示そう。そう考えたから今回の決断となったのです。

参院選に向けての決起大会を兼ねた自民党大会で松本純は実行委員長を務めました。東日本大震災で犠牲になった方々への黙とう、参院選比例代表候補として公認された歌手、今井絵理子さんによる国歌斉唱。そしてゲストスピーチはノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生…。会心のプログラムだと自負しています。今回の参院選では18歳、19歳の若い皆さんが初めて1票を投じます。そこでその年齢の皆さんの皆さんに発声をお願いして、「選挙必勝、ガンバロー！」のコールが3度会場に響きました。

いま地域で
(人・まち・出来事)

サンバの魅力で地域文化に貢献を！

エスコーラ・ヂ・サンバ・サウーヂ 代表 石山 和男さん(中区)

サウーヂは横浜を拠点とするサンバ・コミュニティです。本場ブラジルのエスコーラ(学校)を模しており、伝統的なエスコーラであるマンゲイラと日本で唯一交流をもっており、その音楽やダンス、社会文化活動の在り方を追求しています。昭和61年に創立、同じ年にスタートした野毛大道芸には昭和64年から参加。浅草サンバカーニバルにも創立以来毎年参加しており、昨年は3度目の優勝を飾りました。メンバーは約300人。横浜を中心に全国から集まってくるそうです。



サンバの魅力を外に広める石山代表

石山さんはレコード会社の洋楽ディレクター時代にブラジル音楽に出会ってのめり込んだといい、サウーヂには2年目に参加。平成19年に2度目の代表に就任しました。「マンゲイラとの関係を深め日本でサンバを中心にコミュニティを育てたい。今年は韓国から招待されていますが、国内外を問わずサンバの魅力を広めたいですね」と言います。

[2016年3月]

松本議員の活動記録

- 1日●社会保障制度に関する特命委員会役員会/財政再建と社会保障制度の一体改革の進め方について
- 6日●富岡山長昌寺芋観音堂御開帳・特別祈願会法要
- 7日●自民党神奈川1区支部大会・松本純後援会総会
- 11日●東日本大震災五周年追悼式
- 12日●全国幹事長会議

- 13日●第83回自由民主党大会
- 15日●厚生労働委員会/雇用保険法、人材確保法 ●労働力確保に関する特命委員会第1回会合
- 17日●NPO法人神奈川県賢友会要請
- 18日●(一社)全国配置業協会交流会
- 23日●一億総活躍推進本部



3/6 中原熊野神社泉蔵社祭
●鎌倉時代、中原熊野神社には泉蔵院と言うお寺もあり、明治時代に神仏を分けた際、中原熊野神社を残しそのそばに泉蔵社と言う形で他の神様を祀ったそうです。



3/6 瀬戸神社神輿保存會金澤扇會40周年記念祝賀会
●40年の間、友情を育み地域に神社に貢献され続けて来た事に敬意を表し、扇の要となる瀬戸神社、扇會を中心として一致結束され発展をされるよう祝辞を述べました。



3/6 濱陸新年会
●寺原匡会長より「伊勢山皇大神宮にて池田正宏宮司により事始めの儀式行われ、今年一年の無事をお祈りしました。日頃の生活を充実させ、土日にお祭りに精が出せるようにしましょう」との挨拶がありました。



3/19 商和会
●昨年から統一地方選挙の公約を作り、平和安全法制の理事を務め、自民党結党60周年記念大会の実行委員長として、また診療報酬改定や今夏の参議院選挙の公約作りの責任者を務める等の報告をしました。

永田町日記 **国道357号の八景島～大黒ふ頭間が全通しました**

国道357号(東京湾岸道路)の本牧ふ頭～中区錦町間約2.3キロが3月27日に開通しました。これで横浜市区間は金沢区八景島～鶴見区大黒ふ頭間17.9キロ(市道を除く)が全通しました。

開通式で横浜市のエズミ市長は「これで供用区間の分断が解消し臨海部の物流の効率化に貢献する。一層横浜港の国際競争力強化に取り組んでまいります」と挨拶。私からは「7、8年前に八幡橋・根岸周辺で交通渋滞による住民の健康被害が起き、町内会長さんたちの署名運動を受けて357号の整備に取り組んだ。当時は麻生太郎総理、私は官房副長官だったが、地元や横浜市の皆さんと連携して今日を迎えることができました」と報告とお礼を述べました。今回の開通によって、住民の皆さんの健康被害が大きく改善され、横浜経済がさらに発展することを願ってやみません。(純)

■ 国道357号東京湾岸道路(神奈川県区間)



開通式で横浜市のエズミ市長は「これで供用区間の分断が解消し臨海部の物流の効率化に貢献する。一層横浜港の国際競争力強化に取り組んでまいります」と挨拶。私からは「7、8年前に八幡橋・根岸周辺で交通渋滞による住民の健康被害が起き、町内会長さんたちの署名運動を受けて357号の整備に取り組んだ。当時は麻生太郎総理、私は官房副長官だったが、地元や横浜市の皆さんと連携して今日を迎えることができました」と報告とお礼を述べました。今回の開通によって、住民の皆さんの健康被害が大きく改善され、横浜経済がさらに発展することを願ってやみません。(純)